【FdData 中間期末：中学社会地理】

[商業・サービス業]

◆パソコン・タブレット版へ移動

[産業の分類]

[問題](要点把握)

　次の下線部A～Hで誤っているものを2つ選び，正しい語句に直せ。

　自然から得られた材料を加工するA製造業(工業)，建設業，鉱業などをB第1次産業という。土地や海などの自然に直接働きかけて動植物を得るC農業，林業，漁業をD第2次産業という。ものの生産に直接かかわらないE卸売業や小売業などのF商業，Gサービス業(運輸，教育，医療，宿泊・飲食，金融など)をH第3次産業という。

[解答]B 第 2 次産業，D 第 1 次産業
※出題頻度：「次は第何次産業か○」
「次から第 3 次産業を選べ○」

[問題](1 学期中間)
　次の①～⑧はそれぞれ第何次産業に分類されるか。数字をかけ。(例えば，第 3 次産業なら 3 と書くこと)
① 林業　② 製造業　③ 運輸業　④ 農業　⑤ 小売業　⑥ 建設業　⑦ 教育　⑧ 医療

[解答]① 1　② 2　③ 3　④ 1　⑤ 3　⑥ 2　⑦ 3　⑧ 3

[問題](3 学期)

　次の中から第 3 次産業で働く人をすべて選び，記号で答えよ。

ア　ほうれん草農家

イ　コンビニエンスストアの店員

ウ　美容師

エ　漁師

オ　携帯電話の店員

カ　銅鉱山の作業員

キ　塾の講師

ク　バスの運転手

ケ　米屋の店長

コ　建設業の社長

サ　銀行員

[解答]イ，ウ，オ，キ，ク，ケ，サ

[問題](1 学期期末)

　第 3 次産業のうち, ①小売業や卸売業, ②金融, 保険業や教育などを行うものを, それぞれ何というか答えよ。

[解答]① 商業　② サービス業

[産業別人口の割合]

[問題](要点把握)

　次の下線部A～Gで誤っているものを1つ選び，正しい語句に直せ。

　先進工業国ではA第3次産業の従業者の割合が高い。日本でも，B第1次産業が約3%，C第2次産業が約23%，第3次産業が約74%と，第3次産業の従業者の割合は70%を超えている。特に，D東京や大阪などの大都市のある都道府県や，E沖縄県や北海道などF観光業がさかんな道県では第3次産業の割合が高い。G東京都と北海道の2つは第3次産業の割合が80%を超えている。

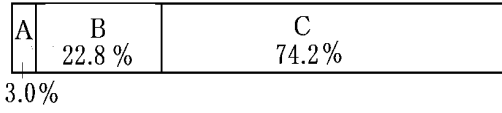
[解答]G 東京都と沖縄県

※出題頻度：「グラフで第 1，2，3 次産業はどれか△」「第 3 次産業が多いのは：大都市(東京など)，観光地(沖縄・北海道)△」

[問題](1 学期中間)

次のグラフについて，後の各問いに答えよ。

日本の産業別人口の割合(2023年)



(1) グラフの A～C にあてはまる産業を次の[　　]からそれぞれ選べ。

[第 1 次産業　第 2 次産業
第 3 次産業]

(2) 産業別人口に占める第 3 次産業の割合が 80％を超える都道府県を，次の[　　]から 2 つ選べ。

[東京都　岩手県　静岡県　沖縄県
愛知県]

[解答](1)A 第 1 次産業　B 第 2 次産業　C 第 3 次産業　(2) 東京都，沖縄県

[問題](後期中間)

次の各問いに答えよ。

(1) 日本で第 3 次産業の産業別人口の比率は全体の約何割か。整数で答えよ。

(2) 第 3 次産業の割合が高いのは，先進工業国か発展途上国のどちらか。

(3) 東京や大阪など大都市のある都道府県では，第 3 次産業に就く人が多い。その一方で，人口の少ない北海道や沖縄県でも第 3 次産業の就業者数が多いが，その理由を簡単に説明せよ。

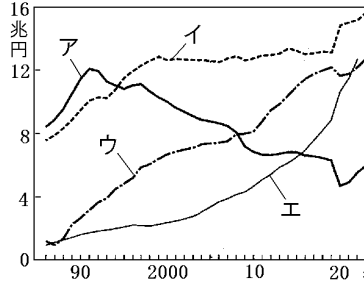
[解答](1) 約 7 割　(2) 先進工業国

(3) 観光業がさかんなため。

[商業の変化]

[問題](要点把握)

次の下線部A～Gで誤っているものを1つ選び，正しい語句に直せ。



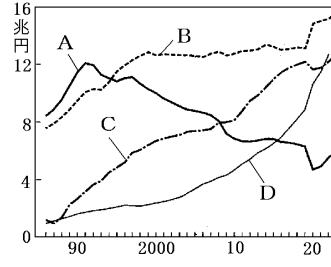
右図のように，小売業の中で，アのA百貨店の売り上げは減少傾向にあり，イのB大型スーパーマーケットの売り上げはほぼ横ばいである。ウのCコンビニエンスストアの売り上げは増加傾向にあるが，これは，D近くにあって24時間営業しており，品揃えもよいからである。エは通信販売で，近年，E電話とF宅配便を利用したG電子商取引が急速に普及している。

[解答]E インターネット
※出題頻度 :「グラフ(コンビニ・通信販売・百貨店・大型スーパー)△」
「インターネットと宅配便を利用した電子商取引△」

[問題](後期中間)

次の各問いに答えよ。

(1) 右の小売店の販売額の変化のグラフのA，C，D にあてはまるものを，次の[　　]から選べ。



[大型スーパー　通信販売　百貨店　コンビニエンスストア]

(2) C の販売額がのびている理由を「24時間」「品揃え」という語句を使って書け。

[解答](1)A 百貨店　C コンビニエンスストア　D 通信販売

(2) 近くにあって 24 時間営業しており，品揃えがよいから。

[問題](2 学期期末)

次の文章中の①～⑤に適語を入れよ。

小売業の中で，近年，急激に売り上げをのばしてきたのは 24 時間営業の(　①　)ストアである。また，最近では，(　②　)という情報通信技術の発達により，(②)上で商品が販売されるようになった。音楽や動画をダウンロードしたり，遠く離れた地域の特産物を(②)と(　③　)便を利用して購入したりする人も増えてきている。また，自動車による買い物が一般的になると，郊外の幹線道路沿いに広い駐車場を備えた大型の(　④　)センターや専門店が進出し多くの買い物客を集めている。その一方で，駅前などでは，古くからあった(　⑤　)街や小規模なスーパーマーケットでは客が減少し，閉店に追い込まれる例も増えている。

[解答]① コンビニエンス　② インターネット　③ 宅配　④ ショッピング　⑤ 商店

[成長するサービス業]

[問題](要点把握)

次の下線部A～Fで誤っているものを1つ選び，正しい語句に直せ。

第3次産業はA商業とBサービス業に大きく分類される。B業には，銀行などの金融業，宅配便などの運輸業，外食産業，情報サービス業，医療・福祉業など多くの業種がふくまれる。B業の中で，近年，大きく伸びているのは，ソフトウェアの開発やアニメーションの制作などを行うC情報サービス業である。また，D少子化によってE介護サービスなどのF医療・福祉業も重要性を増している。

[解答]D 高齢化

※出題頻度：「情報サービス業△」「高齢化△→介護サービスなどの医療・福祉業△」

[問題](2 学期期末)

次の各問いに答えよ。

(1) 近年重要性を増している，情報処理やソフトウェアの開発などを行う産業を何というか。

(2) 現在，医療・福祉関連の仕事につく人が増加している。その理由として，お年寄りが増えていることがあげられる。この現象を何というか。漢字3文字で答えよ。

[解答](1) 情報サービス業　(2) 高齢化

[問題](前期中間)

次の文章中の①～④に適語を入れよ。

第 3 次産業は商業と(　①　)業に大きく分類される。(①)業には，銀行などの金融業, 宅配便などの運輸業, 外食産業, 情報サービス業，医療・福祉業など多くの業種がふくまれる。その中でも，IT 革命と呼ばれる情報通信技術の発達により,(　②　)業が重要な産業になってきている。また，お年寄りの割合が増える(　③　)化によって, (　④　)サービスなどの医療･福祉業も重要性を増している。

[解答]① サービス　② 情報サービス　③ 高齢　④ 介護

【各ファイルへのリンク】

社会地理

[世界 1]　[世界 2]　[日本 1]　[日本 2]

社会歴史

[古代]　[中世]　[近世]　[近代]　[現代]

社会公民

[現代社会]　[人権]　[三権]　[経済]

理科 1 年

[光音力]　[化学]　[植物]　[地学]

理科 2 年

[電気]　[化学]　[動物]　[天気]

理科 3 年

[運動]　[化学]　[生殖]　[天体]　[環境]

【FdData 中間期末製品版のご案内】
この PDF ファイルは, FdData 中間期末を PDF 形式(スマホ用)に変換したサンプルです。製品版の FdData 中間期末は Windows パソコン用のマイクロソフト Word(Office)の文書ファイル(A4 版)で, 印刷・編集を自由に行うことができます。
◆FdData 中間期末の特徴
中間期末試験で成績を上げる秘訣は過去問を数多く解くことです。FdData 中間期末は, 実際に全国の中学校で出題された試験問題をワープロデータ(Word 文書)にした過去問集です。各教科(社会・理科・数学)約 1800～2100 ページと豊富な問題を収録しているため, 出題傾向の 90%以上を網羅しております。
FdData 中間期末を購入いただいたお客様からは,「市販の問題集とは比べものにならない質の高さですね。子どもが受け

た今回の期末試験では，ほとんど同じような問題が出て今までにないような成績をとることができました。」,「製品の質の高さと豊富な問題量に感謝します。試験対策として，塾の生徒に FdData の膨大な問題を解かせたところ，成績が大幅に伸び過去最高の得点を取れました。」などの感想をいただいております。

◆サンプル版と製品版の違い

ホームページ上に掲載しておりますサンプルは，製品の全内容を掲載しており，どなたでも自由に閲覧できます。問題を「目で解く」だけでもある程度の効果をあげることができます。しかし，FdData 中間期末がその本来の力を発揮するのは印刷ができる製品版においてです。印刷した問題を，鉛筆を使って一問一問解き進むことで，大きな学習効果を得ることができます。さらに，製品版は，すぐ印

刷して使える「問題解答分離形式」，編集に適した「問題解答一体形式」，暗記分野で効果を発揮する「一問一答形式」(理科と社会)の 3 形式を含んでいますので，目的に応じて活用することができます。

FdData 中間期末の特徴(QandA 方式)

◆FdData 中間期末製品版の価格

社会地理，歴史，公民：各 7,800 円

理科 1 年，2 年，3 年：各 7,800 円

数学 1 年，2 年，3 年：各 7,800 円

ご注文は電話，メールで承っております。

FdData 中間期末(製品版)の注文方法

※パソコン版ホームページは，Google などで「fddata」で検索できます。

※Amazon でも販売しております。
（「amazon　fddata」で検索）

【Fd 教材開発】電話：092-811-0960

メール： info2@fdtext.com